



高橋 昌彦 社長

**企** 業の業務アプリケーションの開発やITインフラの設計・構築業務などで着実に実績を積み上げてきたロイコム株式会社。今年3月で5期目を終了し、会社としての「変革期」を迎える中、人材リソースの強化によって更なる飛躍を目指している。

「例えば、私が第一線から退いても永続的にお客様からの信頼を守り、喜びを提供し続ける会社になるためにはステップアップが必要だ。社員一人ひとりが大人の『品格』を持ち、技術屋」としてではなく、人としての魅力を高めていかなければなりません」と話すのは、ベンチャーの躍動感を求めて2008年に同社を設立した高橋昌彦社長。高度な技術力が大手SIerを中心とする顧客から揺るぎない信頼を得る一方で、ITに固執することなく、社員一人ひとりの夢を実現させることによつて事業領域を更に拡大していこうとしている。

「会社は、社員が夢を叶えるための『フィールド』です。社員各自が、どうすれば自分の夢を実現できるのかを真剣に考えて行動するのであれば、会社の名前を使って好きな仕事を始めても良いのです」(高橋社長) 毎月の定例会では、一人の社員が語った夢を、社員

全員が意見を出し合つて、実現させるための方法を真剣に考えるワークショップも計画しているという。また、高橋社長は「社員にとつて最大の顧客は『社員』」と考え、ポジションが固定されている野球ではなく、流動的に選手の役割が変わるサッカーに自社を例えて、次のように話す。

「サッカーではディフェンダーが点を取り、ストライカーがゴール前で守備するなど場面ごとに活躍する人が変わります。社長は、社員が生き生きと働ける環境を提供するグラウンドキーパーであり、方向性を決める監督です。方法論はプレイヤー自身が決め、プレーする社員同士がアイコンタクトで状況判断できるくらいにまでコミュニケーション

力を高められれば、怖いものは何もありません」  
**得意分野を伸ばして「顧客」を魅了**  
外部セミナーへの参加を促すなど、次代の中核を担う人材を育成するべく、教育環境の整備を推進している同社。採用活動にも力を入れ、最高のパフォーマンスで「顧客(業務上の顧客)を魅了する、真の「ロイコム人」を育てていく方針だ。

「夢を語ることで、『夢を夢で終わらせない』という強い気持ちと発想力、『潔さ』を持つている人を求めています。『ロイコム』という『フィールド』には、プレイヤーだけでなく、マネージャーや裏方さん、ひいてはコーナースタッフ、ゴールマウスなど、活躍できる場

所が必ずあり、得意分野を極限まで伸ばせば良いのです」(高橋社長)  
実際、「技術に自信が無いので他の役割で会社に貢献したい」と自ら申し出た女性社員は現在、統括部の経営戦略企画推進担当として活躍中。高橋社長も大きな信頼と期待を寄せる。(谷)

【会社データ】  
本社 東京都中央区築地3-17-9 興和日東ビル6F  
☎ 03-6226-3838  
設立 2008年4月  
事業内容 システム設計・開発業務、システムインテグレーションサービス、システムコンサルティング  
<http://www.roycom.co.jp>

**ロイコム**

(東京)

**「品格」を高めて躍動するITベンチャー  
社員の夢を叶える「フィールド」を拡大**



活気ある社内研修の光景